

一般質問



大倉たかひろ 議員 (民・改)

ネット教育について

①小中学校の段階でのネット教育が有効では。②区在住の小中高生で⑦ネット依存患者は何か。①ネットによるいじめ等の情報は持っているのか。③ネット依存への予防や対策は。④ネットリテラシー教育について⑦考えは。①取り組みは。②出前授業を活用し、より良いネット教育環境をつくっては。

は区立小中学校で31件だ。③しながらアクシオンを活用し、各家庭でルールを決めることを提案している。④⑦⑧全ての子どもが情報活用能力を身につけなくてはならないと考え、情報化社会の良さと危険性等について理解させている。⑤全校で出前授業を実施しており、指導の充実を図る。

防災について

教育次長 ①重要だと考え、指導を行っている。②⑦把握は困難だ。①4月からの累計

①各避難所連絡会議について



浅間台小学校

①ボランティア募集等の検討は。②区に設置される会場の禁煙や分煙の考えは。③歩きたばこやポイ捨て禁止を徹底して行い、7年後の機運醸成を行っている。④パラリンピックについて⑦学校や施設を練習場所として提供し、それを区民が見学できるようにしては。①小学校で競技の体験学習をしては。②様々な試みをしては。③地域振興事業部長 ①都等の動きを見ながら進めていく。②都の管理であり、都が方針を決める。③更に効果のある取り組みとするため、区民参加型のマナーアップ運動も進める。④⑦実現の可能性を検討していく。①障害者スポーツへの理解を深める契機と考え、実現に向けて検討していく。②積極的に広報していく。

①投票日にイベントを開催し、投票率を向上させては。②投票率を上げる取り組みの実施状況は。③スーパーに期日前投票所を設けることで投票率が向上したという事例をどう考えるのか。④若年層の投票率向上に、LINEを活用しては。⑤今後の啓発の課題等をどう捉えているのか。選挙管理委員会委員長 ①イベント開催は困難と考える。②広報宣伝車の運行等だ。③効果があると捉えているが、安定的な商業施設の借用等が可能かどうかの課題がある。④SNS活用への対応を進める必要があると考えている。

①保育園・小学校における食物アレルギーの児童数は。②保育園・小学校等では、どのような食物アレルギーの研修が行われているのか。③消防署によるAEDの取り扱いや心肺蘇生の訓練などを実施しているのか。④給食等で食物アレルギー対応を行っている児童数は。⑤初歩的ミスによる誤食事故をどう捉えているのか。⑥確認を怠ったために起こる誤食事故を防ぐため、どのような取り組みがなされているのか。⑦各学校における食物アレルギー対応委員会の設置状況等は。⑧消防署との連携をどう強めていくのか。⑨学校生活管理指導表の活用には、学校側と校医等を含む医師会との話し合いや勉強会等が必要と思われ、区の対応は。

①即時型食物アレルギーは保育園・幼稚園で142人、小学校では157人だ。②保育園では専門医等による研修等を実施している。小学校

①待機児童対策として、2年間で約800人の定員を拡大するに当たり、十分な保育人員の確保についての見直しはあるのか。②区立認可保育園の派遣看護師の割合は。③保育所は可能な限り同じ看護師が1年間勤務することが望ましいと思うが、見直しは。④病児保育のニーズを伺うアンケート調査を実施しては。区長 ①25年度は各園とも確保しており、26年度は採用が困難との報告等は受けていない。②ゼロ歳児園で正規配置をしており、毎年新規採用に努めているが、採用困難職種であり約2割の園で委託している。③1年間の継続配置をお願いしている。④子ども子育て支援事業計画の策定に伴う意向調査の項目でニーズを把握し、対応も検討する。

品川区の食物アレルギー対策について



鈴木 博 議員 (み・無)

では27校が校内研修をしており、うち23校は練習用エビペンを使用した実践的なトレーニングを実施している。⑤保育園等職員は全員が普通救命講習を受講している。小学校教員は消防署主催の普通救命講習に参加し、訓練を行っている。④アレルギー除去食等を行っている園児は21人、児童は306人だ。⑤あつてはならない。⑥ダブルチェックの徹底や食器の色を変えるなどの見える化等だ。⑦校長を中心とした養護教諭等による会議を、食物アレルギー対応委員会として整備し設置するよう準備を進めている。⑧庁内のアレルギー対応検討委員会で連携を検討している。⑨主治医や医師会との連携等は大変重要であると認識している。

品川区の子育て支援について

①結核患者数と年齢層は。②感染力の強い喀痰塗抹陽性者数は。③結核に対して、どのような危機感を持って対策を行っているのか。④BCG接種の個別化について⑦理由は。①接種率は。②人念な準備が必要では。③妊娠を希望する女性に風疹抗体検査を補助し、ワクチン接種の助成を継続すべきでは。④風疹の啓発をどう続けるのか。⑤先天性風疹症候群児の⑦早期発見の取り組み等は。①療育支援の検討等は。②水痘ワクチン2回接種に対する区の見解は。③日本がB型肝炎ワクチン定期化となっていない国の一つだと指摘されているが、どう分析しているのか。品川区保健所長 ①昨年の

選挙について

①投票日にイベントを開催し、投票率を向上させては。②投票率を上げる取り組みの実施状況は。③スーパーに期日前投票所を設けることで投票率が向上したという事例をどう考えるのか。④若年層の投票率向上に、LINEを活用しては。⑤今後の啓発の課題等をどう捉えているのか。

選挙管理委員会委員長

①イベント開催は困難と考える。②広報宣伝車の運行等だ。③効果があると捉えているが、安定的な商業施設の借用等が可能かどうかの課題がある。④SNS活用への対応を進める必要があると考えている。

2020年東京オリンピック・パラリンピックについて

教育委員会と教育現場の相互意見交換について

①教職員が持つ現場の視点をどう酌み取り活用しているのか。②教育委員会職員と教職員が意見を交わせる場は、課題解決に有意義と考えるが所見は。③教職員からの課題報告や解決案の提案を紹介する取り組みがあれば、区の教育全体にプラスになるのでは。教育次長 ①校長等が日々のコミュニケーションを通して教職員の努力や工夫等を理解し、指導・育成することが重要と考える。②校長と教育長等の定期的な意見交換の場を設けているほか、教育委員は学校訪問をし、現場の声を聞いている。③活躍した教職員や顕著な取り組みに対し教育次長賞制度があり、教職員のモラル向上を図っている。